

ishoken gallery

Akio Niisato

新里明士



2016年5月15日(日)

— 6月12日(日)

Open 9:00-17:00 ※初日15日(日)は13:00

多治見市陶磁器意匠研究所

〒507-0803 岐阜県多治見市美坂町2-77

Tel. 0572-22-4731

Fax.0572-25-0983

vol.  
01



ishoken

[www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/](http://www.city.tajimi.lg.jp/ishoken/)

この度、活躍する多治見市陶磁器意匠研究所卒業生を市民に紹介することと、現役研究生への刺激となることを期待して、ishoken galleryを新設します。明治の初め市之倉の加藤五輔は、100年以上も前に精緻な染付磁器でパリをはじめとする海外の万博で高い評価を受け、すでに多治見は世界とつながっていました。陶磁器産業は名古屋港の輸出の6割を占めた時代を経て現在に至りますが、歴史と文化はこの町に深く根付いています。製造技術、上絵技法、そして、伝統に基づく文化を生かし「再び世界につながろう」との業界や行政の機運のなかで、若い意匠研の卒業生たちはすでに世界に羽ばたき活躍し注目を浴びています。その筆頭に新里明士さんがいます。彼は、研究生時代から現在まで、轆轤を中心とした制作を続けています。その作品は一貫して静謐で、神聖とさえいえるような緊張感のある空気を纏っています。日本の工芸の特質は「技術・技法的な要素を強調することで、表現としての強度を持つ」との信念で、ストイックに技術を高め、技法の追求をしています。そんな彼の制作姿勢と作品が今、世界で注目を浴びています。ishoken galleryの第1回展として新里明士展を企画しました。皆様の御来場を心からお待ちしております。

多治見市陶磁器意匠研究所長 中島晴美

早いもので、多治見市陶磁器意匠研究所を卒業して15年程になりました。「光器」シリーズを制作し始めてからも12、3年が経ち、最近やっとこの技法を自分のものにできたと思っています。同じ技法に長い時間向き合うことで、少しずつ感じられる技術的向上と、多くの時間に感じるマンネリズムへの克服を通して、自分なりの表現の核を見つけることができればという淡い希望を抱きながら日々制作しています。この度は母校の意匠研での個展ということで、面映ゆいところもありますが、多少なりとも研究生の制作のきっかけを作ることが出来れば幸いだと思っています。もちろん同時に自分も少し成長することを期待して。

新里明士



新里明士  
Akio Nisato

1977年 千葉県生まれ  
2001年 多治見市陶磁器意匠研究所修了  
2011年 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として、1年間アメリカ・マサチューセッツ州にて制作  
2012年～ 岐阜県土岐市にて制作

グループ展

2016年 “REVALUE NIPPON PROJECT” パナソニック汐留ミュージアム(東京)  
“現代の造形 -Life&Art- 生活を彩る陶” 東広島市立美術館(広島)  
2015年 “Resonance of Traditional Color” Gyeonggi ceramic museum(韓国)  
“工芸の現在” 菊池寛実記念 智美術館(東京)  
“Dialogue with Materials” Ahmed Adnan Saygun Sanat Merkezi, Anadolu University(トルコ)  
2014年 “現代・陶芸現象” 茨城県陶芸美術館(茨城)  
2013年 “現代の名産” 菊池寛実記念 智美術館(東京)、清州国際工芸ビエンナーレ(韓国)  
2012年 “MINO CERAMICS NOW 2012” 岐阜県現代陶芸美術館(岐阜)  
“International contemporary ceramics exhibition, 3rd edition” Galatea Gallery(ルーマニア)  
2011年 “東海現代陶芸 思考する新世代展” 愛知県陶磁資料館本館(愛知)  
“白の時代” 益子陶芸美術館/陶芸メッセ・益子(栃木)  
“REVALUE NIPPON PROJECT” 茨城県陶芸美術館(茨城)  
2010年 “現代工芸への視点 - 茶事をめぐって” 東京国立近代美術館工芸館(東京)  
2004年 “非情のオブジェ” 東京国立近代美術館工芸館(東京)  
“MINO CERAMICS NOW” 岐阜県現代陶芸美術館(岐阜)

受賞

2014年 MOA岡田茂吉賞 新人賞  
2008年 パラミタ陶芸大賞展 大賞、国際陶磁器展美濃 審査員特別賞  
2009年 菊池ビエンナーレ 奨励賞  
2005年 イタリア ファエンツァ国際陶芸展 新人賞

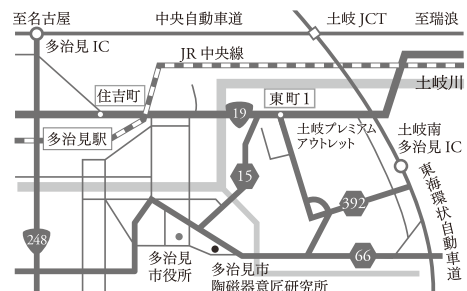
関連催事[公開特別講義]関係情報 2016年5月15日

- オープニングセレモニー 13:00～
- 新里明士公開特別講義 13:30～15:00 聴講無料 定員:50名(要申込)  
※研究生の授業である特別講義を一般公開します。  
会場:多治見市陶磁器意匠研究所講義室

[公開特別講義]申込先:多治見市陶磁器意匠研究所人財育成グループ

Tel.0572-22-4731 Fax.0572-25-0983

Email:ishoken-jinzai@city.tajimi.lg.jp



Design:Fujimoto Gumi(Kobichi Fujimoto) Photographer:329 Photo Studio(Yasuko Okamura)